

学会ニュース

No.1



新任教員インタビュー



宮本 舞 先生
みやもと まい

甲南大学経済学部 卒業
神戸大学大学院経済学研究科
博士課程前期課程 修了
博士課程後期課程 修了(博士(経済学))

1. ご出身はどちらですか？

出身は神戸です。
就職の時に一時期離れましたが、ほとんど神戸に住んでいます。

2. 大学時代、何を学んでいらっしゃいましたか？

柘植先生のゼミに所属して、環境経済学を学んでいました。

3. 現在研究しているテーマを教えてください。

環境技術の開発がどのように進んでいくのか、また環境技術がどのように普及していくのかを、特許のデータを用いて分析をしています。

4. 休日は何をしていますか？

Netflixを見たり、だらだらしていることが多いです。趣味が特にないので、家事を趣味にしようと思って頑張っています。

5. 宮本先生は甲南大学のOGでいらっしゃいますが、大学時代に頑張っていたことはありますか？

経済学会に所属していたので、インナーゼミナル大会の運営などを頑張っていました。また、ゼミではとても熱心に指導していただいていたので、インナーゼミナル大会やアクティブ・スチューデント・プログラムなどの準備を、夜遅くまで頑張っていました。

6. 大学生時代に心掛けていたことはありますか？

色々なタイプの人と一緒に何かをすることを頑張っていました。この力は、職場などで働いている上で、とても勉強になったなと感じました。現在の研究でも活かしています。

7. OGとして後輩に伝えたいことはありますか？

甲南に戻ってきて、どの授業でも熱心に勉強していて、皆さん真面目だなと感じました。新型コロナウイルス感染症や国際情勢などが影響して、留学や旅行など色々なことにチャレンジしにくい状況にあると思います。最近コロナが落ち着いてきたので、ぜひ色々なことにチャレンジしてみてください。もし失敗しても、大学生は先生や周りのサポートもありますし、失敗から得るものもあると思うので、ぜひ失敗を恐れず、チャレンジする機会が増えるといいなと思います。





8. 講義をする時に気をつけていることや大切にしていることは何ですか？

講義の中に、少しでも「楽しいな」と思えることがあればいいなと思っています。

嫌いなことや苦手なことを頑張れない気持ちは、私自身がそうなのでとても理解できます。なので、「授業全てが面白い！」と思うことはなかったとしても、「ここ面白いな」「ちょっとそれ楽しそう」と思ってもらえるようなことが、授業の中にいくつか散らばっていたらいいなと思います。

卒業してからも、新しい知識を習得することはずっと続いていくので、苦手意識を与えず、少しでも楽しさを知ってもらえるようにしています。

9. 自分の中で大切にしていることは何ですか？

今まで周りの人に恵まれ、助けられてきたと思います。一方で、周りがチャンスをくれた時にそれを逃さないように、常に準備しておかなければならないと思っています。

また、今まで出会った多くの先生方に「私たちに返さなくて良いから、学生に返してやれ」と言っていただいたので、今まで私がもらったものを学生の皆さんに還元できるように頑張りたいと思っています。

10. 後期からゼミを持たれますが、どんなゼミにしたいですか？

ゼミ生の雰囲気を見ながら、相談して決めていきたいと思っています。

樂をしたいと思う気持ちも分かりますが、頑張らないと分からない面白さもあるので、「頑張れ」って言うのではなく、「頑張りたいな」と思ってもらえるような流れを作っていけたらいいなと思っています。また、そこで頑張っていくのはゼミ生の皆さんなので、活発に活動できるような雰囲気づくりをしていきたいです。

どのようなゼミになるのか、とても楽しみにしています。

11. 最後に、今後の意気込みと学生へのメッセージをお願いします。

〈今後の意気込み〉

新型コロナウイルス感染症やオンライン授業で、思い通りに研究が進まなかったところもあるのですが、研究者と教育者のバランスをうまくとっていきたいです。研究者としての良い面を教育に還元したり、教育面で皆さんと授業したり、ゼミをしたりすることによって得られた刺激を研究に活かしたり、上手く回せていけたらいいなと思っています。また、最近のトピックも勉強しないと、皆さんに大切さや面白さを伝えられないと考えているので、勉強しなければな、と思っています。

〈学生へのメッセージ〉

現在、新型コロナウイルス感染症や国際情勢など、皆さん自身の問題ではないところで、皆さんの様々な活動に支障が出ています。甲南に来て、そんな現状にお先真っ暗だと考えて保守的になっている学生さんに出会うことが多いです。保守的なことも大事だけれど、分からないから、不安だから守りに入っているところもあるのかな、と個人的には感じています。

学生の皆さんには、大学にいる間は大学のサポートがあったり、守られる部分がある程度あるので、大学生の期間を活かして色々なことにチャレンジしてほしいです。社会に出てから「ここなら勝負できるぞ」という自信を身につけて卒業できるように、色々なことにチャレンジする4年間にしてほしいです。

[担当] 安田、布引